

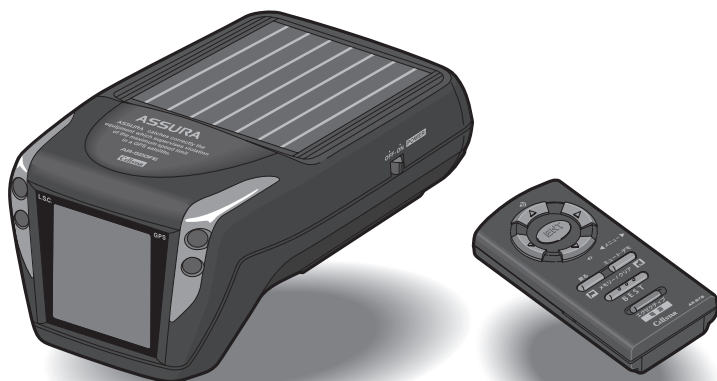
Produced to assure your safety.

ASSURA

リモコン付き GPSソーラーレーダー探知機

AR-520FE

取扱説明書



CELLSTAR®

ご購入のお客様へ

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。
尚、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

初めてご使用になる場合には、付属のDCコードを使用して、累計で約8時間
以上充電をしながらご使用ください。

本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。

速度の出し過ぎに注意して走行してください。

また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ELEDディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能




故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害 [※] の発生の可能性が想定される」内容です。 ※物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。


■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


 この表示は、必ず実行していただく「**強制**」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。


 この表示は、してはいけない「**禁止**」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。


 この表示は、気をつけていただきたい「**注意**」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。


危険


 本製品はDC12V専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。

 走行中に本製品の操作や画面の注視をしないでください。
※交通事故の原因となります。


 万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。


 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。


 煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。
※発火して火災の原因となります。


 水につけたり、水をかけた後、又、ぬれた手で絶対に操作しないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。


注意

 穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
※感電や故障の原因になります。


 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。


 夏の炎天下、真冬の駐車の際は本製品を取り外してください。
※性能の劣化、本体の変形、「ELディスプレイ」の表示不良などをまねく原因となります。


 一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本製品が鳴り続ける場合があります。


 本製品を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。


警告

 運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能（ブレーキ、ハンドルなど）の妨げにならない場所に取り付けてください。
※誤った取り付けは交通事故の原因となります。

 エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。
※万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。

 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。
※感電やショートによる発火の原因となります。

 本製品は精密機器です。分解や改造は絶対にしないでください。
※発熱、火災、ケガの原因となります。

 ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。

使用上の注意

- 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出し過ぎには注意して走行してください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。
- 運転中に画面を長く注視しないようにしてください。画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。交通事故の原因となります。操作は必ず安全な場所を確保しておこなってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最小限としてください。
- 本製品は、GPS 測位状態や登録・記録済みデータを基に、またはレーダー波、無線電波を受信することで警告動作をおこないます。GPS 測位していない状態、登録・記録されていない地点、または各種受信ができない状態では警告動作をおこなうことができません。
- 一部の車種において付属の DC コードが、お車のシガーライターソケットの形状に合わない場合があります。
- 車内で TV の 56ch にチャンネルを設定していると、本製品が GPS 測位をできなくなる場合があります。これは故障や不良ではありません。
- 本製品は、車載の電波機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC など）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合は GPS を含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本製品の設置位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔を取って設置してください。
- 光電管を使用した有入式速度取締りがおこなわれている場合、その取締りに対して警告することができません。あらかじめご了承ください。

内蔵バッテリーの消耗について

- コードレスで使用する場合、警告・無線受信の頻度、設定内容などによっては内蔵バッテリーの消耗が激しくなります。

熱反射ガラスについて

- 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いため GPS 信号やレーダー波、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両ディーラーやメーカーへお問い合わせください。

GPS 警告について

- GPS 警告ポイントが複数隣接している場合、そのいずれかに対する警告が優先されます。そのため、それ以外に対する GPS 警告ができない場合があります。また、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

事故多発エリアについて

- 警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期、またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。
- 首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

警察署・交通警察隊について

- 移転、新設などがあった場合、本製品でのお知らせと実際の状況が異なります。

急カーブについて

- 本製品でお知らせする急カーブは、当社独自の調査により、登録しているものです。したがって、急カーブであると思われる場所であっても、お知らせしない場合などがあります。

駐車禁止エリアについて

- 本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。したがって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所についてもお知らせしない場合があります。

取締りポイントについて

- 取締りポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて、本製品に登録されたエリアに対しての警告であって、実際に取締りがおこなわれていることに対しての警告ではありません。また警告の前後で取締りをおこなっている場合もあります。あらかじめご了承ください。

制限速度について

- 本製品でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応しておりません。また、普通自動車に対する制限速度をお知らせします。
- 制限速度切り替わりポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切り替わりはお知らせしません。また、ピンポイントでお知らせするものではありません。

無線受信機能について

- 受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を窃用することは、電波法第五十九条により禁じられています。
- 受信電波がデジタル通信の場合は、音声聞くことができません。
- 受信しても、無線内容がない場合や短い場合があります。
- 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信できない場合があります。
- 各種無線は常に使用されています。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。
- ヘリテレ無線の受信は、ヘリコプターから無線中継所への送信電波です。
- ヘリテレ無線の無線中継所付近では、ヘリコプターの接近にかかわらず、受信する場合があります。
- レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を連続的に、または、頻繁に受信する場合があります。
- 本製品は一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのためそれ以外のレッカー業者が使用している無線を受信することができません。
- 署活系無線はチャンネル数が多く使用頻度も高いため、連続的な受信や、頻繁に受信する場合があります。

カーロケータシステムについて

- カーロケータシステムは全ての警察関係車両に搭載されていません。また搭載されていても常時電波を発信していません。
- カーロケータシステムでの受信については導入されている地域、または波が変更されている地域では受信することができません。

レーダー波受信機能について

- 一部の自動車など、速度取締機と同じ電波を使用している機器があります。その場合、本製品でレーダー警告をおこなうことがありますが、これは故障ではありません。
- 設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあり、この場合、レーダー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせすることができません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。

パワーオート切り替え機能について

- お車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、電源が切れない場合があります。使用しない場合には本体の「電源スイッチ」で電源を切ってください。

「E-ディスプレイ」について

- 「E-ディスプレイ」で長時間同じ映像を表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、表示跡が残る「焼き付け」が発生する可能性があります。これらは「E-ディスプレイ」の特性によっておこる現象であり、不良や故障ではありません。（※焼き付けは完全に消すことはできません）スクリーンセーバーを使用したり「E-ディスプレイ」の明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減させることができます。本現象の「E-ディスプレイ」の修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- 「E-ディスプレイ」の中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。また少し色のむらや明るさのむらが見える場合があります。これらは「E-ディスプレイ」の特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。本現象の「E-ディスプレイ」の修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- 「E-ディスプレイ」を太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。お車に設置する際には、ご注意ください。

はじめに.....	2	バーチャルエコー機能.....	38
安全上の注意.....	2	本製品の全リセット.....	39
使用上の注意.....	3		
もくじ.....	4	故障かな?と思ったら.....	40
同梱品の確認.....	5	アフターサービスについて.....	42
各部の名称と機能.....	6	保証書について.....	42
本製品の設置.....	8	修理を依頼される時.....	42
本体の取り付け方法.....	8	個人情報に関して.....	42
リモコンの取り付け方法.....	9	データ更新について.....	42
本製品の起動.....	11	リモコンの紛失について.....	42
内蔵バッテリーについて.....	11	新設速度取締機、Nシステム、	
充電方法.....	12	取締りポイントの情報提供のお願い.....	43
電源を入れる.....	13	各地域のお客様相談窓口一覧.....	43
電源を切る.....	13		
EL ディスプレイの説明.....	14	仕様・定格.....	44
EL ディスプレイの見方.....	14	オプション品.....	44
GPS 警告動作例.....	15		
GPS 警告時のディスプレイ表示.....	16		
各種無線警告時のディスプレイ表示.....	18		
レーダー波警告時のディスプレイ表示.....	20		
各種機能の設定.....	22		
各種機能の設定一覧.....	22		
EL ディスプレイ表示の設定.....	24		
音量の調整.....	25		
ミュート機能.....	26		
BEST セレクト機能.....	26		
エグゼクティブモード.....	28		
各種機能の説明.....	29		
ハイブリッド型 L.S.C. 機能の動作.....	29		
レーダー波受信感度オートの動作.....	29		
パワーオート切り替え機能.....	30		
オートトーンダウン機能／			
オートディマー機能.....	30		
タイムディマー機能.....	30		
レーザーオートミュート機能.....	30		
GPS 測位について.....	31		
便利な機能.....	32		
スキップ機能.....	32		
ユーザーメモリー機能.....	33		
GPS 警告ポイント消去機能.....	34		
レーダーキャンセルメモリー機能.....	35		
通過速度履歴確認機能.....	36		
1キロ圏内サーチ機能.....	36		
デモンストレーション.....	37		
飲酒運転警告案内.....	37		
追跡表示機能.....	38		

AR-520FE の 3 つの便利な機能

Eos

イオス: Effective Operation System

心地よく、効率の良いドライビングサポートを実現させる新システムを採用。GPS 情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。

走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。

P-can

不要音自動キャンセル **ピー・キャン**

常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などが必要なくなった GPS 警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。

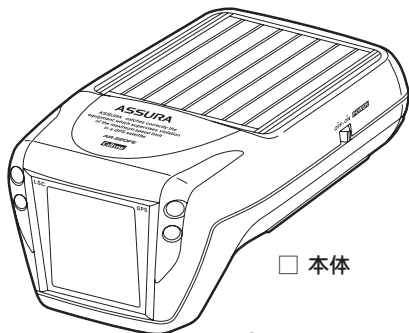
BEST

ベストセレクト機能

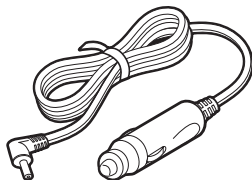
新発想の“BEST ボタン”をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード（全ての警告動作を実行）」「標準モード（お薦めできる標準的な設定）」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード 1（初期設定が高速道向け）」「マニュアルモード 2（初期設定が一般道向け）」の 4 つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

同梱品の確認

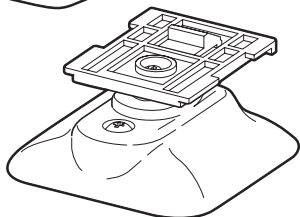
はじめに、同梱物の確認をおこなってください。



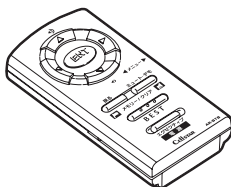
本体



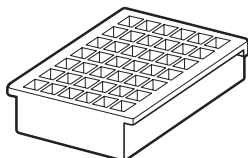
DCコード*



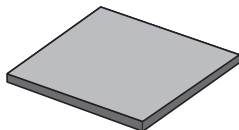
マウントベース



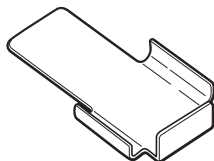
リモコン



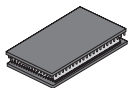
プレート



ダッシュボード
取り付け用両面テープ



リモコンホルダー



プレート取り付け用
固定テープ



リモコンホルダー
取り付け用両面テープ

取扱説明書(本書)

保証書

※その他注意書きが同梱している場合があります。

リモコン用電池

(リモコン使用前に装着する必要があります。)

参照 ◆リモコン用電池の装着方法(●9ページ)

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ELEDディスプレイの説明

各機能の設定

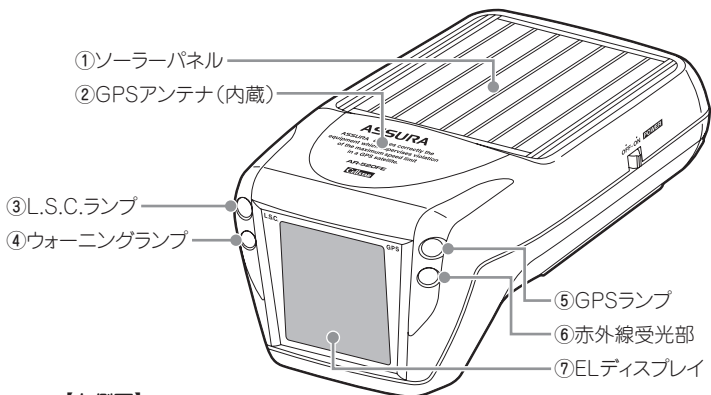
各機能の説明

便利な機能

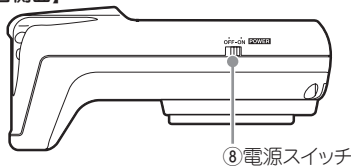
故障かな?と
思ったら

アフターサービス
について

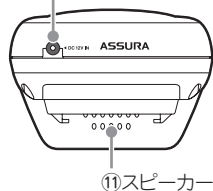
各部の名称と機能



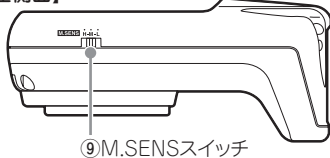
【右側面】



【背面】



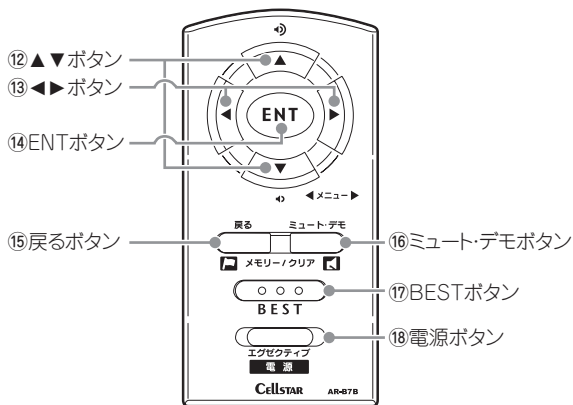
【左側面】



❖ 本体部の名称と機能

- ① **ソーラーパネル**
太陽光を受けて発電し、内蔵バッテリーに充電します。
- ② **GPS アンテナ (内蔵)**
GPS 衛星からの信号を受信します。
- ③ **L.S.C. ランプ (緑・赤・橙色)**
電源のON/OFF 状態や、ハイブリッド型L.S.C. 機能の動作状況を表示します。
- ④ **ウォーニングランプ (青色)**
レーダー警告の際、レーダー波の強さを点滅して表示します。
- ⑤ **GPS ランプ (赤色)**
GPS の測位状態を表示します。
- ⑥ **赤外線受光部**
リモコンから送信される赤外線を受光します。
- ⑦ **EL ディスプレイ**
レーダー受信時、GPS 警告時、各種無線の受信時に警告画面を表示します。
また、マニュアルモードなどで各種設定内容を表示します。
- ⑧ **電源スイッチ**
電源のON/OFF をします。
- ⑨ **M.SENS スイッチ**
内蔵のムービングセンサーの感度を切り替えます。
- ⑩ **DC12V ソケット**
DC コードを接続し、DC12V を本製品に入力します。
- ⑪ **スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。

各部の名称と機能 (つづき)



❖ リモコン部の名称と機能

- ⑫ ▲▼ボタン
音量を調整するときに使用します。
また、各種設定変更時の設定切り替えに使用します。
- ⑬ ◀▶ボタン
設定メニューの選択時に使用します。
- ⑭ ENT ボタン
設定操作の決定や、通過速度の確認、1 キロ圏内サーチ機能、ワンスキップの操作をするときに使用します。
- ⑮ 戻るボタン
ユーザーメモリー機能やGPS 警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。
また、各種設定の操作などを中止するときにも使用します。
- ⑯ ミュート・デモボタン
ミュート機能、デモンストレーション、スキップメモリー、レーダーキャンセルメモリーなどの設定をするときに使用します。
- ⑰ BEST ボタン
BEST セレクト機能の切り替えや設定チェックをするときに使用します。
- ⑱ 電源ボタン
本体の電源を ON/OFF します。
またエグゼクティブモードを切り替えるときに使用します。

❖ リモコンの操作方法

リモコンを下図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。

⚠ 注意

- ・リモコンを紛失いたしますと、本製品の操作をおこなうことができません。
紛失しないよう、十分ご注意ください。
- ・本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。
これは本製品の製品不良や故障ではありません。
あらかじめご了承ください。

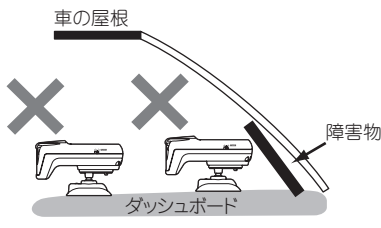
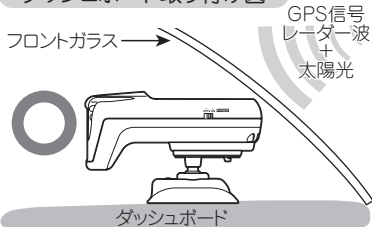


本体の取り付け方法

❖ ダッシュボード取り付け時の注意 ……

本製品は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーザー波を受信してお知らせします。また、ソーラーパネルによる充電機能を備えています。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。

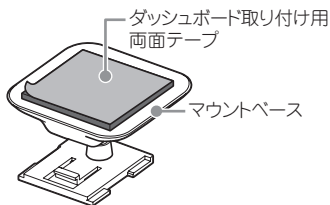
ダッシュボード取り付け図



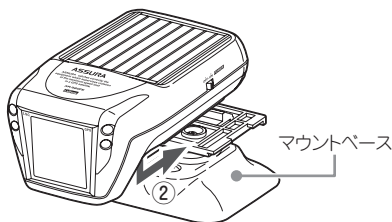
❖ ダッシュボードへの取り付け

(マウントベース使用の場合) ……

- ① マウントベースの裏面にダッシュボード取り付け用両面テープを貼り付けます。

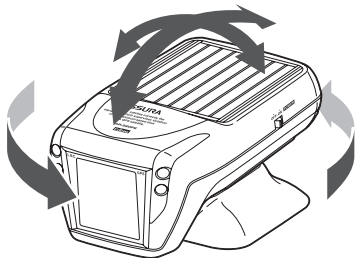


- ② 本体の裏面にマウントベースを装着します。
- ③ マウントベースをダッシュボードに貼り付けます。

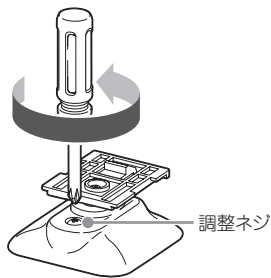


- ⑤ ELEDディスプレイがよく見えるように本体の向きと傾きを調整します。

※ 太陽光の角度により、表示ランプが見えにくくなる場合があります。



マウントベースに装着した本体の向きがぐらつく場合、マウントベースの調整ネジを締めることで、しっかりと本体を固定することができます。一度マウントベースから本体を取り外し、調整ネジをドライバーなどで締め直してください。

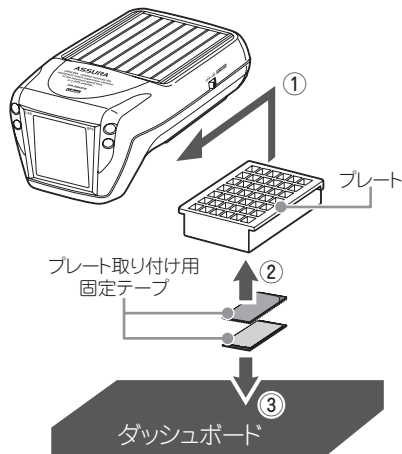


本体の取り付け方法(つづき)

❖ ダッシュボードへの取り付け

(直置きの場合)

- ① 本体の背面にプレートを装着します。
- ② プレート取り付け用固定テープをプレート部に貼り付けます。
- ③ もう一方の固定テープをダッシュボードに貼り付けます。



⚠ 注意

本製品は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETCなど）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合やGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。

また、本製品の設置位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔を取って設置してください。

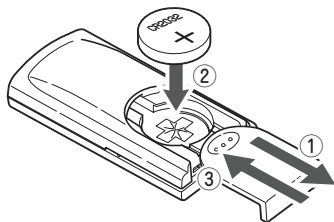
リモコンの取り付け方法

❖ リモコン用電池の装着方法

本製品ではボタン電池（CR2032）を使用します。初めて本製品をご使用になる場合は、リモコンに同梱の電池を装着してください。

また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

- ① 電池カバーを後ろにずらして外します。
- ② 電池を下図のように「+」側を上にして、リモコンに納めます。
- ③ 電池カバーをはめ直します。



⚠ 警告

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。

⚠ 注意

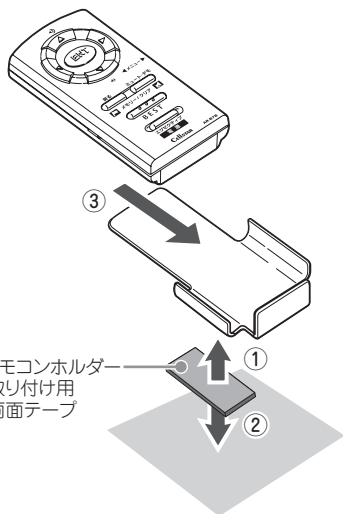
- 電池の「+」「-」を逆に入れしないでください。
- 長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池を取り出して保管してください。
- 同梱の電池は、モニター用電池です。

リモコンの取り付け方法 (つづき)

❖ リモコンの取り付け

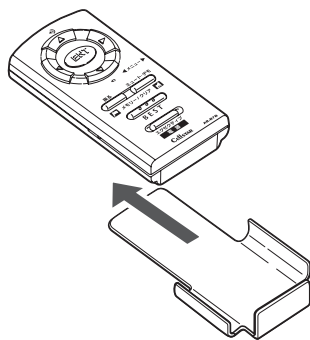
リモコンを紛失しないように、リモコンホルダーをお車に固定すると便利です。

- ① リモコンホルダーとリモコン取り付け用両面テープを貼り付けます。
- ② リモコンホルダーを取り付け箇所貼り付けます。
- ③ リモコンをリモコンホルダーに納めます。



❖ リモコンの取り外し

下図の矢印の向きにリモコンホルダーから取り外します。



内蔵バッテリーについて

本製品は、DC12V 入力または内蔵バッテリーを電源として動作いたしますが、特に内蔵バッテリー（ソーラー）での使用の際は、いくつかの注意点が 있습니다。以下の注意点をよくご理解の上、ご使用ください。

❖ 使用上の注意



注意

無線受信の頻度、動作設定内容などによっては、内蔵バッテリーの消耗が激しくなります。これは本製品の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。



初めてお使いになる場合には、必ず DC コードを接続し充電をしながらご使用ください。充電時間の目安は累積で約 8 時間です。（使用例：1 時間充電 × 8 回）



本製品は、さまざまな省電力対策を施しておりますが、GPS 測位時に多量の電気を消費します。内蔵バッテリーの電圧がある一定値以下になると、内蔵バッテリー保護のため全機能が強制的に停止しますので、ご注意ください。



ソーラーパネルでの充電は、あくまで補助的な充電です。本製品の動作頻度が高い地域または降雪地域などで、冬期にソーラーパネルでの充電ができなくなるなど、早く内蔵バッテリーが消耗する場合があります。ご注意ください。



ソーラーパネルの発電能力は、天候、取り付け場所によって大きく左右されます。夜間、雨天曇り降雪時などは、発電されませんので、DC コードを接続して使用してください。

- ※ 本製品を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、GPS 測位の各種データは消去され、次回の使用時、GPS 測位に時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。
- ※ 長期間ご使用にならない場合、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にしてください。
- ※ 内蔵バッテリーには寿命があります。充電が十分にできなくなってきたら新しいものと交換してください。（使用状況にもよりますが目安は約 3 年です。）また、内蔵バッテリーの交換については、お買い上げの販売店または、最寄のお客様相談窓口、カスタマーサービスにご相談ください。
- ※ フロントガラスに着色してある、または特殊加工してある車種の場合、ソーラー充電効率が低下して内蔵バッテリーの消耗が早くなります。
- ※ 内蔵バッテリーの消耗が激しいときは、DC コードでのご使用をおすすめします。
- ※ DC コードのシガーライタープラグ内部のヒューズが切れた場合は新しいヒューズ（1A）に交換してください。
- ※ 一部の車種においては、DC コードのシガーライタープラグ形状が合わない場合があります。

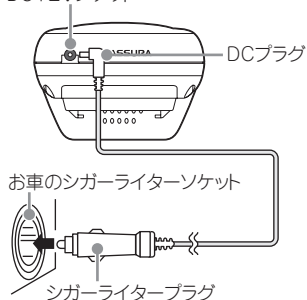
充電方法

❖ DC コードでの充電方法

初めてお使いになる場合や、バッテリーの充電が必要な状態になった場合は、必ずこの DC コードでの充電をおこなってください。

DC コードのシガーライタープラグをお車のシガーライターソケットに接続してください。

DC12Vソケット



- ※ DCコードでの充電時間の目安は累積で約8時間です。
- ※ DCコードでの充電は、「電源スイッチ」が「OFF」の場合でも充電できます。ただし、お車のエンジンがかかっている場合にに限られます。(一部車種除く)

充電を十分にした後、DCコードを抜いてコードレスでもご使用いただけます。

⚠ 注意

DCコードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、DCコードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。

十分にご注意ください。

別売オプション「RO-100」

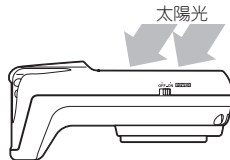
別売の AC アダプター「RO-100」を使用すると、家庭用電源コンセントを使用して、充電をおこなうことができます。

別売オプション「RO-103」

別売の電源直付 DC コード「RO-103」を使用すると、シガーライターソケットを使用せずに DC12V を取ることができます。

❖ ソーラーパネルでの充電方法 (補充電)

ソーラーパネルに直接太陽光が当るように取り付け位置を調整してください。



- ※ ソーラーパネルでの充電は、「電源スイッチ」が「OFF」の場合でもおこなえます。

ソーラーパネルでの充電は、あくまでも補助的な充電です。内蔵バッテリーの充電が必要な場合は、必ず付属の DC コードを使用して充電をおこなってください。

⚠ 注意

夜間、雨天曇り降雪時などの日は太陽光が弱いため、ソーラーパネルでの充電はおこなわれません。特に、冬季の降雪地域や悪天候が続く場合は、付属の DC コードを使用してください。

❖ 内蔵バッテリー残量警告

内蔵バッテリーの残量が少なくなると、「EL ディスプレイ」に「<要充電>画面が表示されます。

要充電



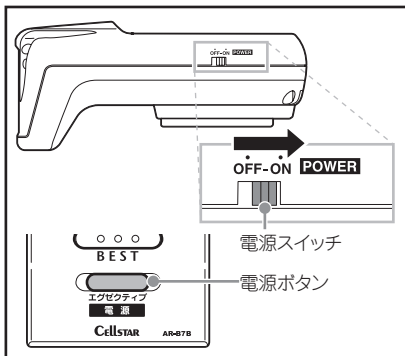
充電してください。危険です。

- ※ 上の画面が表示されてから DC12V を入力すると GPS 測位をはじめます。内蔵バッテリーの残量が低下した場合は付属の DC コードを使用し、充電しながらご使用ください。

⚠ 注意

<要充電>画面になっても、各種設定や記録は保護されています。本製品を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、各種設定や記録は消去され、工場出荷時状態に戻る場合があります。

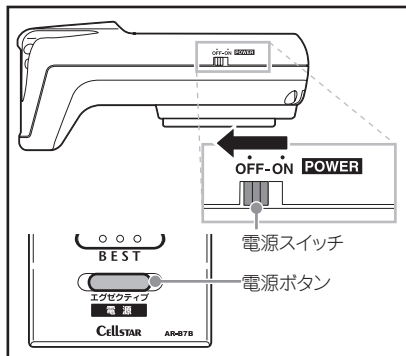
電源を入れる



初めてご使用になる時は、付属の DC コードを使用して累積で約 8 時間以上充電しながらご使用ください。

【参照】 充電方法 (←12 ページ)

電源を切る



- 1 本体の「電源スイッチ」を「OFF」にします。またはリモコンの「電源ボタン」を約 3 秒間押し続けます。

- 1 本体の「電源スイッチ」を「ON」にします。またはリモコンの「電源ボタン」を約 3 秒間押し続けます。

電源が入るとウェルカムボイスで、シートベルトの着用または全国交通安全運動週間中の案内や飲酒運転警告案内をお知らせします。

※ ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はおこないません。シートベルトの着用案内をお知らせします。

また、はじめて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告案内はおこないません。

- ※ リモコンによる電源 ON 操作はリモコンにより電源 OFF した後、有効となります。(断続的に振動がない場合は、約 2 分間のみ有効です。)

⚠️ お買い求め頂いて、
初めてお使いになる場合

GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが (約 15 分程度)、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。

GPS 測位に 20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。

GPS 測位が確定すると「♪ピンポン、GPS を測位しました。」とお知らせします。

オープニング画面



通常時はシートベルト着用のお知らせをします。

飲酒運転警告案内の設定が ON の場合、夜間に本製品の電源が入ったときにお知らせします。

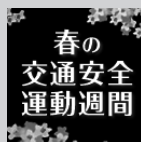
【参照】 飲酒運転警告案内 (37 ページ)

飲酒運転禁止

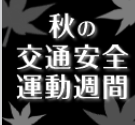


4月6日～4月15日*の春の交通安全運動週間にお知らせします。

※ 4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日～5月20日に変更になります。



9月21日～9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。



ELディスプレイの見方

本製品が起動すると、GPS測位の確定後、待ち受け画面^{*1*}^{*2}を表示し、各種警告をおこなうたびに画面が切り替わります。

※1：待ち受け画面はDC12V入力時のみ表示されます。

※2：待ち受け画面の表示については「**待ち受け画面の選択**」(←24ページ)を参照してください。

待ち受け画面

(待ち受け画面設定：「オール1」の場合)



表示されるデータは目安として
ご使用ください。

- ① 制限速度
- ② レーダー波の受信レベル
- ③ 駐車禁止エリア内有的时候に表示^{*3}
- ④ 音声出力の状態
 - 通常出力のときに表示
 - EX** エグゼクティブモードのときに表示
 - ミュート(消音)時に表示
- ⑤ 制限速度超過のときに表示
- ⑥ カメラが設置された位置と取締機のイラスト^{*4}
- ⑦ 取締機までの距離
- ⑧ 取締機のある方向
- ⑨ 取締機の種類
- ⑩ 道路種
(高速道：背景が緑色／一般道：背景が青色)
- ⑪ 走行速度
(制限速度内：白色／制限速度超：赤色)
- ⑫ 通過速度
(制限速度内：背景が灰色／制限速度超：背景が赤色)

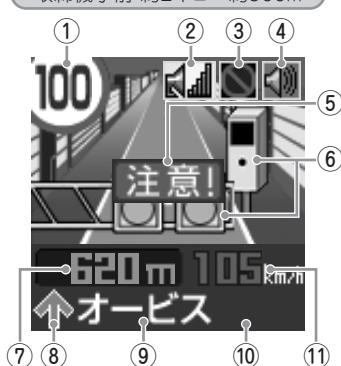
※3：③の駐車禁止エリアの表示はDC12V入力
のときにのみ表示されます。

※4：⑥のイラストは取締機の種類と設置された位置(道路の左/中央/右)によって変化します。

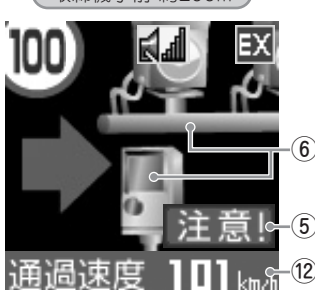
GPS警告画面

(昼間/高速道/オービスが右側に設置の場合)

取締機手前 約2キロ~約500m



取締機手前 約200m



❖ 昼夜画面表示機能

各種警告時のディスプレイ表示は、タイムディ
マー機能に合わせて表示が自動的に変わります。

参照 タイムディマー機能 (←30ページ)

(例) Nシステム警告時のディスプレイ表示



GPS警告動作例

❖速度取締機（ループコイル、新Hシステム、レーダー式オービス、LHシステム、NHシステム）

または信号無視監視機の警告動作

4ステップGPS警告（速度取締機の約2キロ手前から最大4回）でお知らせします。

首都高速、可変式、ループコイルの場合



ステップ1（約2キロ手前）

♪ピンポン、2キロ先 首都高速 可変式 ループコイルに注意してください。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



ステップ2（約1キロ手前）

♪ピンポン、1キロ先 首都高速 可変式 ループコイルに注意（してください）。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



制限速度、60キロ以下です。危険です。スピード落として。

オービス制限速度警告（走行速度が制限速度を超えている場合）

ステップ3（約500m手前）

♪ピンポン、500m先 首都高速 可変式 ループコイルに注意してください。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



ステップ4（約200m手前）

♪ピンポン、カメラは左側です。通過速度は60キロ以下です。

カメラ位置警告 通過速度警告



「ELディスプレイ」の警告画面は、ソーラー使用時には約10秒間、DC12V使用時または追跡表示機能がONの場合は連続で表示されます。

参照 追跡表示機能（●38ページ）

※距離のボイスアシストは、走行状況によって2キロ先/2キロ以内、1キロ先/1キロ以内、500m先/500m以内と変化します。

※一般道は、約1キロ手前からの3ステップGPS警告になります。



注意

- 通過速度警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点で計測した速度をお知らせします。
- GPS測位による速度計測とお車のスピードメーターでは計測方法が違うため、同時点の計測であっても異なる場合があります。

GPS 警告時のディスプレイ表示

◆ ループコイル



車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

◆ 新Hシステム



レーダー波と異なった種類の電波を使用します。事前に「速度超過」などが速度警告板に表示され、それを無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。

◆ オービス



レーダー波（マイクロ波）を車両に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

◆ LHシステム



車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。

◆ NHシステム



通行車両をデジタルカメラで撮影し、その写真画像のブレなどから走行速度を算出することで速度違反車両を特定します。現在このNHシステムはNシステムとは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りをおこなう可能性があります。

◆ 信号無視監視機



信号無視の取締まりを自動で起こさないです。
※ ボイスアシストは「新型取締機」となります。

◆ Nシステム



盗難車両の発見・自動車を使用した重要事件における犯人検挙のために利用する自動ナンバー読み取り装置です。

◆ 取締りポイント



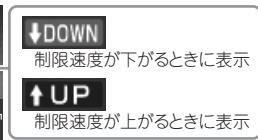
全国各地（高速道、一般道）での追従式取締り、または移動式取締りや検問がおこなわれていた目撃情報をもとに取締りがおこなわれている可能性の高いエリアを取締りポイントとして登録しています。

取締りポイントの約1キロ手前でお知らせし、走行速度が一定の速度より速い場合には約500m手前で再度注意を促します。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

【参照】各種機能の設定一覧（➡22～23ページ）

◆ 制限速度切り替わりポイント



制限速度が切り替わる付近でお知らせします。また、制限速度よりも走行速度が速い場合は「スピードに注意してください。」とボイスアシストします。

※ 標準モードに設定されている場合は、制限速度が下がるポイントでのみお知らせします。

【参照】各種機能の設定一覧（➡22～23ページ）

◆ 事故多発エリア



警察庁、国土交通省の統計データにもとづき、全国各地の事故発生率が高いエリアを事故多発エリアとして登録しています。

GPS警告時のディスプレイ表示（つづき）

❖ 警察署



緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を登録しています。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、警察署への警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

（参照）各種機能の設定一覧（←22～23ページ）

❖ 交通警察隊



※ ボイスアシストは「警察署」となります。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通警察隊への警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

（参照）各種機能の設定一覧（←22～23ページ）

❖ 交通検問所



一般道では道路脇に設置されていますが、高速道では料金所脇の高速隊詰め所に併設される場合や、サービスエリアに設置されている場合もあります。道路から引き込み路があり、検問所が常設されています。

取締りは常時ではありませんが速度違反や飲酒検問、過積載などの取締りをおこなっています。その他にも交通規制時にも使用されています。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通検問所への警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

（参照）各種機能の設定一覧（←22～23ページ）

❖ 過積載監視システム



路面に設置された重量測定用の踏み板と道路上方の監視カメラによって、トレーラーなどの大型車の重量オーバーを監視します。

❖ 急カーブ



急カーブがある場所をお知らせします。

❖ 駐車禁止エリア



本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。したがって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない

場合があります。

なおDC12V入力のあるときは、駐車禁止エリア内では「ELディスプレイ」の右上にマークを表示します。

※ 駐車禁止エリアは、一般道路に対してお知らせします。

❖ 道の駅



全国の一般道に併設されている道の駅を登録しています。

❖ ハイウェイオアシス



全国の高速道路に併設されているハイウェイオアシスを登録しています。

❖ トンネル出口速度取締機



トンネルの出口付近に設置されている速度取締機をトンネルの手前でお知らせします。

❖ ユーザーポイント



ユーザーメモリー機能で登録されたポイントをお知らせします。約1キロ手前から3回警告をおこないます。

各種無線警告時のディスプレイ表示



注意

- 警察活動無線、署活系無線、レッカー無線、消防無線、消防ヘリテレ無線、新救急無線、JH無線、警察電話、警備無線の受信には、DC12Vコードの使用が必要です。
- 各種無線（350.1MHzを除く）を連続的に受信すると、自動的に「ELディスプレイ」表示のみの警告となります。

❖カーロケータ

警察関係車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。

カーロケータを受信すると、受信電波の強弱に応じて緊迫状況かどうかを判断してお知らせします。

○1回目の受信



※カーロケータの感度が「感度Lo」に設定されている場合は、弱い電波の受信はできません。

参照 各種機能の設定一覧 (P.22～23ページ)

○ニアミスアラーム (連続受信)



連続して受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。

※カーロケータシステムの受信については導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

※警察関連車両に追尾されていても、カーロケータを受信しない場合があります。カーロケータシステムは全ての警察関連車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関連車両の接近をお知らせすることができません。

※本製品のカーロケータ受信は407.725MHzのみ対応しております。これ以外の周波数やシステムの場合、警告をおこなうことができません。

❖350.1MHz



350.1MHz

速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。

無線の会話を聞くことができます。

※350.1MHz無線の受信は、電波の状態などによって受信状態が変わります。

※350.1MHz無線の受信で、デジタル通信の場合は音声聞くことはできません。

※350.1MHz無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され電波が出ている場合に限りです。

❖警察デジタル無線



デジタル無線

主に警察関係車両で本部との連絡用として使用される無線です。

※警察デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

❖警察活動無線



警察活動無線

主に機動隊で連絡用として使用される無線です。

※ボイスアシストは「デジタル2」となります。

❖署活系無線



署活系無線

警察署の管轄区域単位で使用する携帯無線で、警察署と警察官または警察官同士の通信手段として使用されている無線です。

各種無線警告時のディスプレイ表示（つづき）

❖ ヘリテレ無線



ヘリテレ無線

事件や事故、またはヘリコプターを使った取締りなどの際に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。

無線の会話を聞くことができます。
※ 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

❖ レッカー無線



レッカー無線

駐車違反や事故処理などで主に東京都内、兵庫県内、愛知県内の一部地域でレッカー業者が使用する無線です。

無線の会話を聞くことができます。
※ レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。

※ お車の走行速度が約 50km/h 以上の場合、レッカー無線は受信しません。

❖ 消防無線



消防無線

各消防署と消防関係車両などとの連絡に使用される無線です。

❖ 消防ヘリテレ無線



消防ヘリテレ無線

山林火災、水災・地震などの災害や地上からの把握が困難な高層建物火災の発生時に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。

※ 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

❖ 新救急無線



救急無線

主に東京都内で使用される救急無線です。

❖ 取締特小無線



取締特小無線

路上での取締り現場などで使用される無線です。

❖ JH 無線



JH無線

日本道路公団（JH）のパトロール車輛と本部の間で使用される無線です。渋滞や工事・事故情報などの連絡に使用されています。無線の会話を聞くことができます。
※ デジタル通信の場合、会話を聞くことはできません。

❖ 警察電話



警察電話

警察関連の自動車電話などで使用されています。

❖ 警備無線



警備無線

全国の名警備会社で使用される無線です。
※ ボイスアシストは「その他無線」となります。

❖ バリケードアラーム



バリケードアラーム

検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合に、専用のバリケードアラームでお知らせします。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ELEDディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

レーダー波警告時のディスプレイ表示

ウォーニングランプ



受信したレーダー波の強さを表示します。

レーダー波表示

(無)

弱



強

レーダー波を使用する速度取締機などへの接近をお知らせします。

◆レーダー警告

レーダー波を受信すると「ELディスプレイ」とアラームと「ウォーニングランプ」でお知らせします。レーダー波の強さが「ELディスプレイ」の上部に表示されます。

また、レーダー波の強さに応じてアラームと「ウォーニングランプ」の点滅が変化します。(自動距離測定回路内蔵)

【参照】 使用上の注意 (●3 ページ)

レーダー波が弱い レーダー波が強い

♪ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッピッピッピッ



レーダー

※ レーダー警告がはじまってから約 30 秒後、警告音量が自動的に小さくなり、同時に「ウォーニングランプ」なども暗くなります。

◆ステルスアラーム

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し、「ELディスプレイ」とボイスアシストとアラームでお知らせします。

ステルスを受信しました。

♪ビロビロビロビロビロビロ…



ステルス

※ ステルスアラームがはじまってから約 10 秒後、警告音量が自動的に小さくなり、同時に「ウォーニングランプ」なども暗くなります。



ステルス波受信について

ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせできません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

◆対向車線レーダー警告オートキャンセル機能

レーダー式速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下のときはレーダー警告のアラームを自動的にキャンセルします。



レーダー

キャンセル中はレーダー波の表示が赤色になります。

※ キャンセル中は、ウォーニングランプが 4 回周期で点滅します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

LEDディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

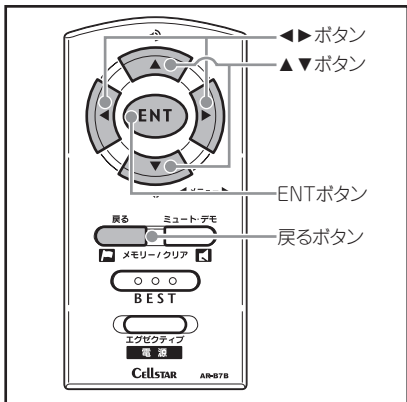
便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

各種機能の設定一覧 ※「マニュアルモード 1/2」選択時のみ設定可能です。

マニュアルモードであらかじめ設定されている内容をお好みで変更することができます。



- 1** 「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、設定メニューから変更する機能を選びます。
※「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を長く押し続けると、選択する機能が順次切り替わりません。
- 2** 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定内容を切り替えます。
- 3** 「ENT ボタン」を押して、設定を確定します。
- 4** 引き続き他の機能の設定を変更する場合は、「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、機能を選びます。
設定を終了して通常動作に戻る場合は「戻るボタン」を押します。
また何もボタンを押さなければ、約 15 秒後に自動的に通常動作に戻ります。

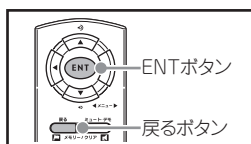
機能	設定内容	説明
取締機	オールハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対するの警告を設定する 高速道路に対するの警告を設定する 一般道に対するの警告を設定する
N システム	オールハイウェイ	高速道路／一般道に対するの警告を設定する 高速道路に対するの警告を設定する
取締りポイント	シティ 解除	一般道に対するの警告を設定する 警告を解除する
制限速度切替り	オール 標準 解除	全てのポイントを警告する 制限速度が下がるポイントでのみ警告する 警告を解除する
オービス制限速度 通過速度	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
事故多発エリア 警察署／交通警察隊 交通検問所	オール ハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対するの警告を設定する 高速道路に対するの警告を設定する 一般道に対するの警告を設定する
過積載取締機 急カーブ	解除	警告を解除する
駐禁エリア	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
道の駅／ ハイウェイオアシス	オール ハイウェイ シティ 解除	高速道路／一般道に対するの警告を設定する 高速道路に対するの警告を設定する 一般道に対するの警告を設定する 警告を解除する
レーダー感度	オート エクストラ ウルトラ スーパー	走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化する 受信感度を「高」に固定する 受信感度を「中」に固定する 受信感度を「低」に固定する
L.S.C.	30km/h 以下 40km/h 以下 50km/h 以下 60km/h 以下 解除	時速 30 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 40 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 50 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 60 キロ以下の走行時に警告音をミュートする L.S.C. を設定しない

はじめに
本製品の設置
本製品の起動
Eディスプレイ
各種機能の設定
各種機能の説明
便利な機能
故障かな？と
アフターサービス

（ループ）

機能	設定内容	説明
カーロケ	感度 Hi 感度 Lo 解除	受信感度を1キロ範囲に広げる 受信感度を500m範囲に狭める カーロケを設定しない
350.1MHz	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
デジタル無線		
警察活動無線		
署活系無線		
ヘリテレ無線		
レッカー無線		
消防無線		
消防ヘリテレ無線		
救急無線		
取締特小		
JH無線		
警察電話		
警備無線		
各種設定		

(ループ)



※ 「各種設定」を選択して「ENTボタン」を押すと、下の表の設定メニューに移動します。

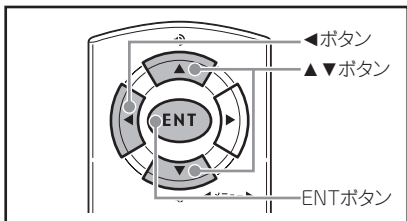
※ 下の表で「戻るボタン」を押すと、上の表の設定メニューに戻ります。

※ [] の機能は標準モード/オールモードでも設定を変更することができます。

機能	設定内容	説明
明るさ	明るい やや明るい 標準 やや暗い 暗い	「EL ディスプレイ」の輝度を最大にする ↑ 「EL ディスプレイ」の輝度を標準にする ↓ 「EL ディスプレイ」の輝度を最小にする
待受画面	オール1 オール2 オール3 方位 月日・時間1 月日・時間2 月日・時間3 緯度・経度1 緯度・経度2 緯度・経度3 ラン オフ	方位・月日・時刻・走行速度を表示する待ち受け画面 (画面：茶) 方位・月日・時刻・走行速度を表示する待ち受け画面 (画面：緑) 方位・月日・時刻・走行速度を表示する待ち受け画面 (画面：紫) 方位を表示する待ち受け画面 年月日・時刻を表示する待ち受け画面 (画面：紫) 年月日・時刻を表示する待ち受け画面 (画面：赤) 年月日・時刻を表示する待ち受け画面 (画面：緑) 緯度・経度を表示する待ち受け画面 (画面：赤) 緯度・経度を表示する待ち受け画面 (画面：緑) 緯度・経度を表示する待ち受け画面 (画面：青) 走行速度を表示する待ち受け画面 待ち受け画面を表示しない
スクリーンセーバー	オン オフ	スクリーンセーバーを表示する スクリーンセーバーを表示しない
追跡表示	オン オフ	追跡表示機能を設定する 追跡表示機能を解除する
飲酒運転警告案内	オン オフ	オープニング画面で飲酒運転警告を案内する オープニング画面で飲酒運転警告を案内しない
バーチャルエコー	スーパー ミドル 解除	出力される音声に強いエコーをかける 出力される音声に弱いエコーをかける 出力される音声にエコーをかけない
初期化	ユーザーポイント プリセットポイント レーダーキャンセルエリア スキップメモリ オールリセット	記録したユーザーポイントを全て消去する GPS 警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰する 記録したレーダーキャンセルエリアを全て消去する 記録したスキップメモリを全て消去する 各設定や記録内容を全消去し、工場出荷時に戻す

(ループ)

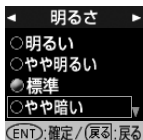
ELディスプレイ表示の設定



◆明るさ5段階調節機能

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「明るさ」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「明るさ」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (→22～23 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

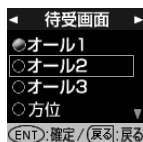
◆待ち受け画面の選択

待ち受け状態のときに表示される画面を6種類12パターンの中から選ぶことができます。

- ・ 待ち受け画面は、DC12V 入力時のみ表示できます。
- ・ 待ち受け画面に表示されるデータは目安としてご使用ください。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「待受画面」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「待受画面」を選びます。

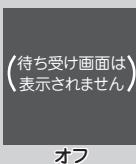
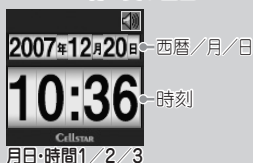
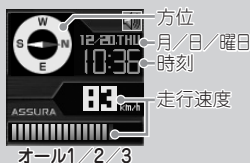


参照 各種機能の設定一覧 (→22～23 ページ)

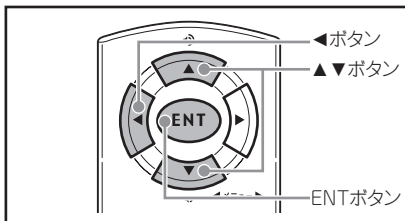
2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

待ち受け画面



ELディスプレイ表示の設定 (つづき)



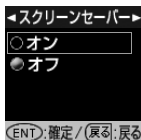
❖スクリーンセーバーのON/OFF設定❖

待ち受け時間が約1分間経過すると、自動的にスクリーンセーバー機能を実行します。

※工場出荷時は設定がOFFになっています。

1 オールモード/標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「スクリーンセーバー」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「▶ ボタン」を続けて押して「スクリーンセーバー」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (p.22 ~ 23 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

❖スクリーンセーバーの解除❖

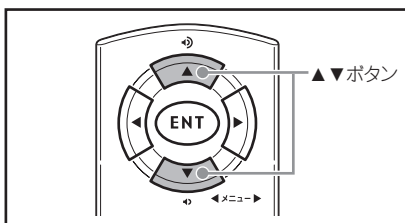
本機が警告動作をおこなったり、リモコンで音量調整などの設定操作をすると、一時的にスクリーンセーバーが解除されます。

操作例：リモコンの「BEST ボタン」を押すと、BEST セレクト機能画面が数秒間表示された後、待ち受け画面になります。

⚠ 「ELディスプレイ」について

- ✓ 「EL ディスプレイ」で長時間同じ映像を表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、表示跡が残る「焼き付け[※]」が発生する可能性があります。これらは「EL ディスプレイ」の特性によっておこる現象であり、不良や故障ではありません。
(※焼き付けは完全に消すことはできません) スクリーンセーバーを使用したり「EL ディスプレイ」の明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減させることができます。本現象の「EL ディスプレイ」の修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ✓ 「EL ディスプレイ」の中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは「EL ディスプレイ」の特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。本現象の「EL ディスプレイ」の修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ✓ 「EL ディスプレイ」を太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。お車に設置する際には、ご注意ください。

音量の調整



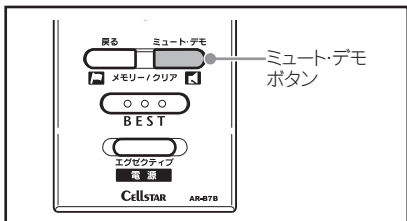
1 「▲ ボタン」または「▼ ボタン」を押して音量を調整します。

音量大

音量小



ミュート機能

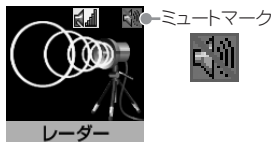


レーダー警告中や各種無線受信動作中に、警告音をミュート（消音）します。

※「EL ディスプレイ」と各ランプによる表示はおこないません。GPS 警告はミュートできません。

1 警告動作中に「ミュート・デモボタン」を押します。

ミュート中は「EL ディスプレイ」の画面右上にミュートマークが表示されます。



○各種無線を受信中の場合

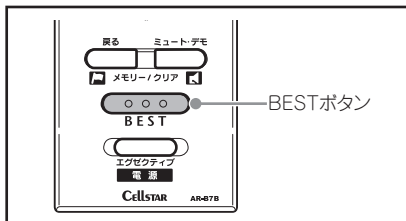
- ・ミュート中に約 120 秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。
- ・ミュート中に再度受信した場合、約 120 秒間ミュート機能が延長されます。

○レーダー警告中の場合

- ・ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

※ミュートの動作中に「ミュート・デモボタン」を再度押すと、ミュートが解除されます。

BEST セレクト機能



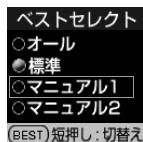
簡単なワンタッチ操作だけで、各機能の設定を個々におこなう必要がない「オールモード」「標準モード」で、自由に設定変更ができる「マニュアルモード 1」「マニュアルモード 2」の 4 つを切り替えることができます。

オールモード	標準モード(工場出荷時)
全ての機能が ON になっています。	ベストセレクトされた機能が ON になっています。
マニュアルモード 1	マニュアルモード 2
初期設定が高速道向けに設定されています。	初期設定が一般道向けに設定されています。
お好みに合わせて各種機能の設定を自由に変更することができます。	

❖BEST セレクト機能の切り替え ……

1 「BEST ボタン」を押します。

現在の設定モードをお知らせします。



2 再度「BEST ボタン」を押すと設定モードが切り替わります。

押すたびに設定モードが切り替わります。

※「マニュアルモード 1/2」から「標準モード」「オールモード」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

❖設定チェック機能 ……

1 「BEST ボタン」を約 1 秒間押し続けます。

「ベストセレクト○○」の後に、各機能の設定内容をボイスガイドと「EL ディスプレイ」でお知らせします。

※お知らせ中に、「BEST ボタン」を押すと終了します。

BEST セレクト機能 (つづき)

○各モードの設定内容 (マニュアルモードは初期設定の内容)

参照 各種機能の設定一覧 (●22～23 ページ)

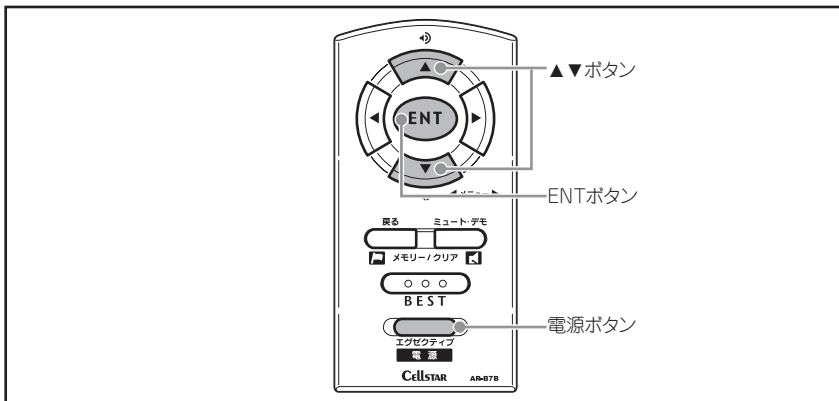
	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2
取締機	オール	オール	ハイウェイ	シティ
N システム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
取締りポイント	オール	オール	ハイウェイ	シティ
制限速度切り替わりポイント	オール	標準	標準	標準
オービス制限速度警告	設定	設定	設定	設定
通過速度警告	設定	設定	設定	設定
事故多発エリア	オール	解除	解除	解除
警察署/交通警察隊	オール	解除	解除	解除
交通検問所	オール	オール	ハイウェイ	シティ
過積載監視システム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
急カーブ	オール	解除	解除	解除
駐車禁止エリア	オール	解除	解除	解除
道の駅/ハイウェイオアシス	オール	解除	解除	解除
レーダー感度	オート	オート	オート	オート
L.S.C.	30km/h 以下	30km/h 以下	50km/h 以下	30km/h 以下
カーロケーター	感度 Hi	感度 Hi	感度 Hi	感度 Hi
350.1MHz	設定	設定	設定	設定
警察デジタル無線	設定	設定	設定	設定
警察活動無線	設定	解除	解除	解除
署活系無線	設定	解除	解除	解除
ヘリテレ無線	設定	解除	解除	解除
レッカー無線	設定	解除	解除	解除
消防無線	設定	解除	解除	解除
消防ヘリテレ無線	設定	解除	解除	解除
新救急無線	設定	解除	解除	解除
取締特小無線	設定	解除	解除	解除
JH 無線	設定	解除	解除	解除
警察電話	設定	解除	解除	解除
警備無線	設定	解除	解除	解除
明るさ	ふつう	ふつう	ふつう	ふつう
待ち受け画面	オール 1	オール 1	オール 1	オール 1
スクリーンセーバー	オフ	オフ	オフ	オフ
追跡表示	オフ	オフ	オフ	オフ
飲酒運転警告案内	オン	オン	オン	オン
パーチャルエコ	オフ	オフ	オフ	オフ

- ※ [] の項目は変更できません。
- ※ 本製品の電源が OFF になっても、各種設定は保存されています。また、マニュアルモードの設定内容も記憶されています。
- ※ 警察活動無線、署活系無線、警察電話、警備無線、消防無線、消防ヘリテレ無線、新救急無線、レッカー無線、JH 無線を受信するには、DC コードから DC12V 入力する必要があります。

 注意

- 設定が「標準モード」「オールモード」の場合、設定は固定されています。各機能の設定を個別に変更することはできません。お好みの設定に変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。
- オールモードやマニュアルモードの設定内容によっては、内蔵バッテリーの消耗が激しくなる場合があります。これは本製品の製品不良や故障ではありません。

エグゼクティブモード

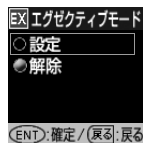


レーダー受信時／GPS警告時／無線受信時にボイスアシスト（音声）を出力せず、警告音と「ELディスプレイ」表示だけで注意を促します。ボイスアシストだけをミュート（消音）したい場合にご使用ください。



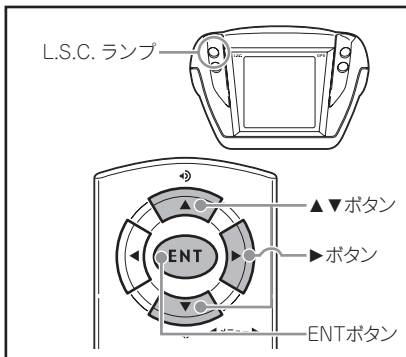
❖エグゼクティブモードのON/OFF設定❖

- 1 「電源ボタン」を押します。



- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。
- 3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

ハイブリッド型 L.S.C. 機能の動作



GPS 測位中、お車の低速走行や停止時にレーダー警告音を自動的にミュート（消音）し、GPS 測位していない場合は、お車の振動が少ない状態のときに警告音をミュートします。

L.S.C.	お車の走行状態	警告音	[L.S.C. ランプ]
ON	L.S.C. 設定速度以上の走行時	あり	緑色*
	L.S.C. 設定速度以下の走行時	なし（ミュート）	赤色*
OFF	高振動時	あり	緑色*
	低振動時	あり	橙色*

* 内蔵バッテリーでの動作時は点滅表示、DC12Vでの動作時は点灯表示となります。

❖ L.S.C. 機能の切り替え

(L.S.C. 機能の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード 1/2 に変更する必要があります。)

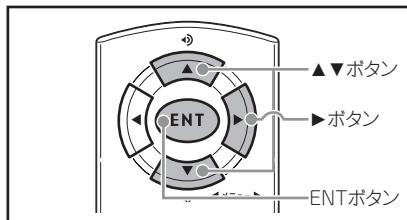
- 1 「▶ ボタン」を押して設定メニューから「L.S.C.」を選びます。
(参照) 各種機能の設定一覧 (←22 ~ 23 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

30km/h 以下	時速 30 キロ以下のときに警告をミュート
40km/h 以下	時速 40 キロ以下のときに警告をミュート
50km/h 以下	時速 50 キロ以下のときに警告をミュート
60km/h 以下	時速 60 キロ以下のときに警告をミュート
解除	L.S.C. を設定しない

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

レーダー波受信感度オートの動作



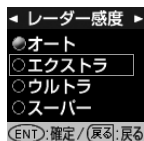
レーダー波の受信感度を、お車の走行速度に合わせて自動で切り替えます。

お車の走行状態	受信感度
時速 約 50 キロ以上	エクストラ (高感度)
時速 約 50 ~ 30 キロ	ウルトラ (中感度)
時速 約 30 キロ未満	スーパー (低感度)
GPS サーチ中、GPS 機能停止	エクストラ固定

❖ レーダー感度の切り替え

(レーダー波受信感度の変更するには、あらかじめマニュアルモード 1/2 に変更する必要があります。)

- 1 「▶ ボタン」を押して設定メニューから「レーダー感度」を選びます。



(参照) 各種機能の設定一覧 (←22 ~ 23 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

オート	走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化する
エクストラ	受信感度を「高」に固定する
ウルトラ	受信感度を「中」に固定する
スーパー	受信感度を「低」に固定する

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

の説明

Eディスプレイ

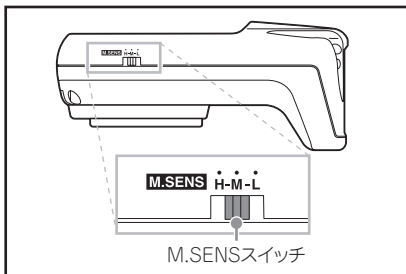
各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな? と
アプテサービス

パワーオート切り替え機能



DC12Vが入力されている場合は、本製品はお車のキー操作に連動して電源の「ON/OFF」をおこないます。

またソーラーで使用している場合は、内蔵のムービングセンサーを利用して、お車が駐車中などの振動の少ない状態が約2分間以上続いたときに自動的に電源を切ります。エンジン始動や発進などで再度連続的な振動を検知すると、自動的に電源が入ります。

❖ ムービングセンサーの感度設定 ……

ムービングセンサーの感度設定は、本体の電源をONにしてからおこなってください。

「M.SENS スイッチ」の設定の目安

- L：振動の多い車 …………… (低感度)
- M：標準設定位置
- H：振動の少ない車 …………… (高感度)

⚠ 注意

- DCコードを抜いた場合などDC12Vが切れると、約15秒間電源は「OFF」となります。
- ソーラーで使用の場合、振動で電源が入らない場合や電源が切れない場合には、ムービングセンサーの感度をお車に合わせて調整してください。
- お車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、電源が切れない場合があります。その場合には本体の「電源スイッチ」で電源を切ってください。

オートトーンダウン機能／ オートディマー機能

レーダー警告が始まってから約30秒後、またはステルスアラームが始まってから約10秒後に、警告音量が自動的に小さくなり、各ランプが暗くなります。

※ 設定は不要です。

タイムディマー機能

GPS時刻情報を利用して、夜間の暗い時間帯に各ランプと「ELディスプレイ」を暗くします。

※ タイムディマー機能の動作時間内は、オートディマー機能は動作しません。

時期	タイムディマー機能の動作時間帯
4月～10月	18:00～05:00
11月～3月	17:00～06:00

レーザーオートミュート機能

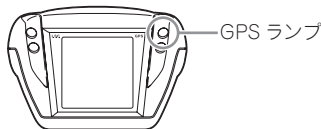
同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート（消音）します。

※ 350.1MHzはミュートされません。

※ 「ELディスプレイ」による表示はおこないません。

※ 設定は不要です。

GPS測位について



GPS を利用した機能を使用するために、GPS の測位確定が必要となります。

本製品の電源が入ると、自動的に GPS 測位が始まり、GPS 測位が確定するまで「GPS ランプ」が点滅します。

GPS 測位が確定すると「**トビボン、GPS を測位しました。**」とお知らせします。

❖GPS 測位状態の確認

「EL ディスプレイ」と「GPS ランプ」で測位状態が確認できます。

測位状態	「EL ディスプレイ」	「GPS ランプ」
GPS サーチ中	—	点滅
測位不可時		点滅
測位中	—	消灯

※「EL ディスプレイ」の表示は DC12V が入力されている場合に限りです。

❖GPS を利用した主な機能

- GPS 警告
 - 速度取締機 (4 ステップ GPS 警告)
 - N システム
 - 取締りポイント
 - 制限速度切り替わりポイント
 - オービス制限速度警告
 - 通過速度警告
 - カメラ位置警告
 - 事故多発エリア
 - 警察署 / 交通警察隊
 - 交通検問所
 - 過積載監視システム
 - 急カーブ
 - 駐車禁止エリア
 - 道の駅 / ハイウェイオアシス
- 対向車線レーダー警告オートキャンセル機能
- ハイブリッド型 L.S.C. 機能
- レーダー波受信感度オート切り替え機能
- ユーザーメモリー機能
- レーダーキャンセルメモリー機能
- GPS 警告ポイント消去
- タイムディマー機能
- 1 キロ圏内サーチ機能
- 通過速度履歴確認機能
- 昼夜画面表示機能
- 全国交通安全運動週間の案内
- 飲酒運転警告案内

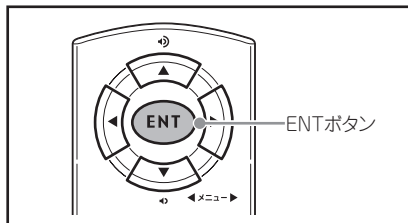


お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが (約 15 分程度) これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS 測位に 20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどでは GPS 測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS 機能を使用するには、GPS 測位中に限られます。
- 車内で TV の 56ch にチャンネルを設定していると、本製品の GPS 測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

スキップ機能

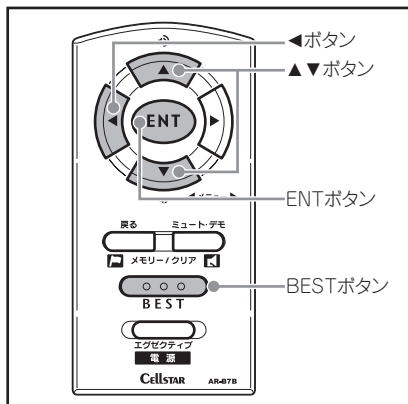
❖ ワンスキップ



受信中の無線を一回だけスキップ（強制終了）することができます。

- 1 受信中に「ENT ボタン」を押します。「トビッ」と鳴り、警告表示や受信音を強制終了します。

❖ スキップメモリー

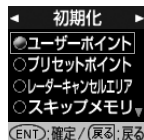


○ スキップメモリーの全消去

※ 個別での消去はできません。一括での消去となります。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「▼ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧（☞22～23 ページ）

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「スキップメモリー」を選びます。

「スキップメモリー、スキップメモリー…」と繰り返しアナウンスされます。

- 3 「ENT ボタン」を約1秒間押し続けます。これでスキップメモリーが全て消去されました。

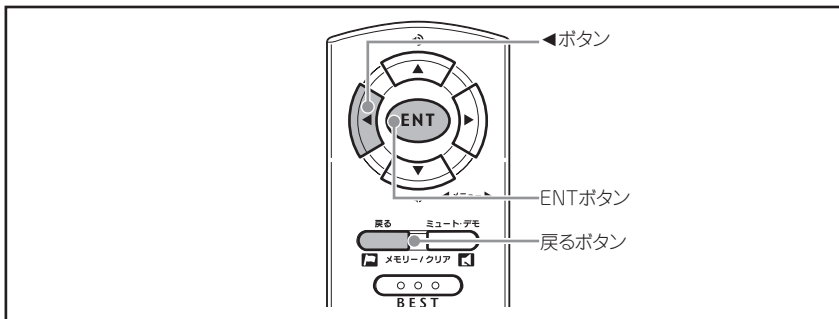
各種無線のうち、特定のチャンネルを最大253チャンネル記録し、スキップ（受信拒否）し続けることができます。

※ カーロケと350.1MHzはスキップできません。

- 1 スキップしたい無線の受信警告動作中に「BEST ボタン」を約1秒間押し続けます。操作結果をボイスガイドでお知らせします。

※ 電源をOFFにしても、記録されたスキップメモリーは保持されます。

ユーザーメモリー機能



新規にお知らせしたいポイントを最大 100 箇所記録して、約 1 キロ手前から 3 回警告をおこなうことができます。

この機能を使用することで、新設された取締機の位置の記録や注意したい地点の記録をおこない、方向識別をして GPS 警告を出すことができます。

※ 記録するには約 1 キロ以上走行している必要があります。

※ 100 箇所を越えると、100 箇所目のポイントに上書きします。

❖ ユーザーポイントの記録

1 記録したいポイントの場所で「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。

「トピンボン」と鳴り、記録を始めます。

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで最大約 20 秒かかります。

結果	ボイスガイド
ポイント記録成功	トピンボン、ユーザーポイント記録しました。
ポイント記録失敗 (GPS が測位できない)	トピンボン、GPS を測位できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	トピンボン、ユーザーポイント記録できません。

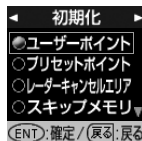
❖ ユーザーポイントの個別消去

1 設定したユーザーポイントの GPS 警告動作中に「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。操作結果をボイスガイドでお知らせします。

❖ ユーザーポイントの全消去

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「▶ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (☞ 22 ~ 23 ページ)

2 「ユーザーポイント」が選択されていることを確認します。

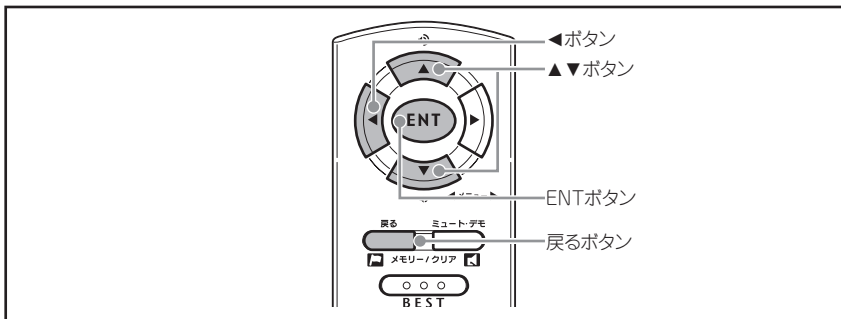
「ユーザーポイント、ユーザーポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。これでユーザーポイントが全て消去されました。

⚠ 注意

ユーザーメモリーは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意しておこなってください。

GPS 警告ポイント消去機能



本製品に登録されている、速度取締機/Nシステム/取締りポイント/制限速度切り替わりポイント/事故多発エリア/警察署/交通検問所/過積載監視システム/急カーブ/駐車禁止エリア/道の駅などのGPS警告を消去することができます。この機能を使用することで、取締機の撤去などに対応することができます。

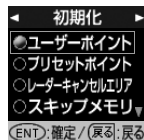
❖GPS 警告ポイントの消去……………

- 1 消去したいポイントのGPS警告動作中に「戻るボタン」を約1秒間押し続けます。「♪ピンポン」と鳴り、消去を始めます。その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

❖GPS 警告消去ポイントの全復帰……………

GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰します。
※ 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。

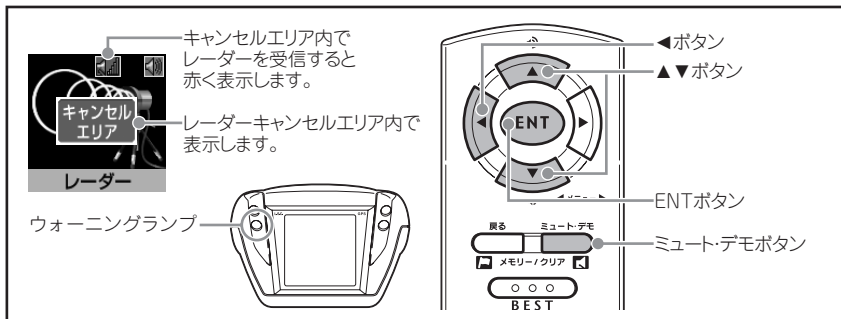
- 1 オールモード/標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。
マニュアルモード1/2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (→22～23 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「プリセットポイント」を選びます。「プリセットポイント、プリセットポイント…」と繰り返しアナウンスされます。
- 3 「ENT ボタン」を約1秒間押し続けます。これでGPS警告ポイントが全て復帰しました。

レーダーキャンセルメモリー機能



レーダー警告音が必要と思われるエリアの半径約200m圏内で、レーダー警告音をキャンセル(消去)することができます。

※ 最大で100箇所のポイントをキャンセルできます。

❖レーダーキャンセルエリアの記録……

1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「ミュート・デモボタン」を約1秒間押し続けます。

「トピンボン」と鳴り、記録を始めます。

※ GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

結果	ボイスガイド
エリア記録成功	トピンボン、レーダーキャンセルエリア記録しました。
エリア記録失敗 (GPSが測位できない)	トピンボン、GPSを測位できません。
エリア記録失敗 (その他の理由)	トピンボン、レーダーキャンセルエリア記録できません。

❖レーダーキャンセルエリアの確認……

「E.Lディスプレイ」と「ウォーニングランプ」でエリア内であるかどうかを確認できます。

レーダー波受信	「E.Lディスプレイ」	「ウォーニングランプ」
あり		3回点滅
なし		2回点滅

❖レーダーキャンセルエリアの個別消去…

1 消去したいレーダーキャンセルエリア内で「ミュート・デモボタン」を約1秒間押し続けます。

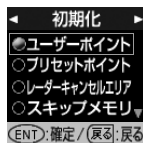
「トピンボン」と鳴り、消去を始めます。

その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

❖レーダーキャンセルエリアの全消去…

1 オールモード/標準モードの場合は「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENTボタン」「◀ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



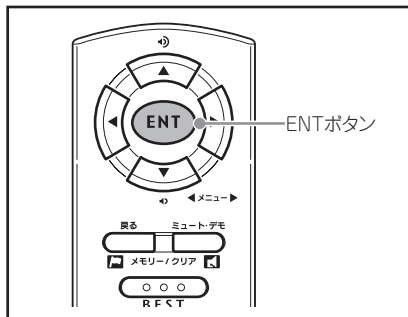
【参照】各種機能の設定一覧(☞22～23ページ)

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「レーダーキャンセルエリア」を選びます。

「レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。これでレーダーキャンセルエリアが全て消去されました。

通過速度履歴確認機能



ENTボタン

メニュー

戻る

ミュート/デモ

メモリー/クリア

R F C T

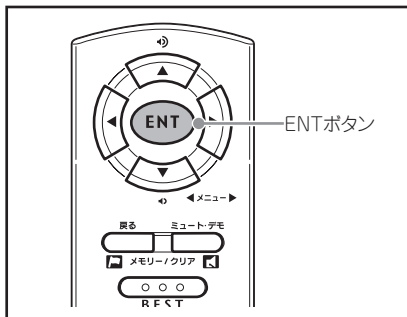
速度取締機を通過したときの通過速度をボイスガイドと「EL ディスプレイ」で確認することができます。
 ※ 確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度1件のみとなります。

1 「ENT ボタン」を押します。

ボイスガイドと「EL ディスプレイ」で前回の通過速度をお知らせします。

- ※ 通過速度警告がOFFの場合でも、通過速度のデータは保存されているので確認することができます。
 (参照) 各種機能の設定一覧 (P.22～23 ページ)
- ※ 本製品の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。

1 キロ圏内サーチ機能



ENTボタン

メニュー

戻る

ミュート/デモ

メモリー/クリア

R F C T

現在地から半径約1キロ圏内に速度取締機またはユーザーポイントがあるかどうかを検索することができます。

- 1 「ENT ボタン」を約1秒間押し続けます。「トピッ、サーチします。」と鳴り、サーチがはじまります。

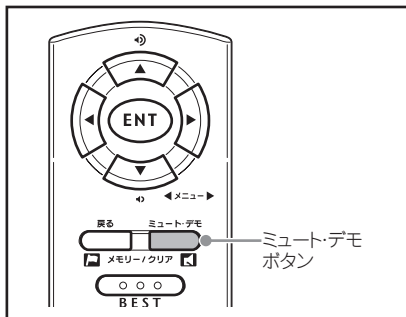
- 2 「EL ディスプレイ」とボイスガイドで結果をお知らせします。

結 果	ボイスガイド
設置あり	トピボン、1キロ以内 東名高速可変式 ループコイルに注意 してください。
設置なし	トピボン、ポイント ありません。
GPS が測位 できない	トピボン、GPS を測位できません。

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

- ※ 半径約1キロ圏内に複数ポイントがある場合は、最も近いポイント1箇所についてお知らせします。

デモンストレーション



本製品の警告動作などをデモンストレーションします。音量の調整をする際に使用すると便利です。

【参照】 音量の調整 (●25 ページ)

※「EL ディスプレイ」の表示もおこなわれます。

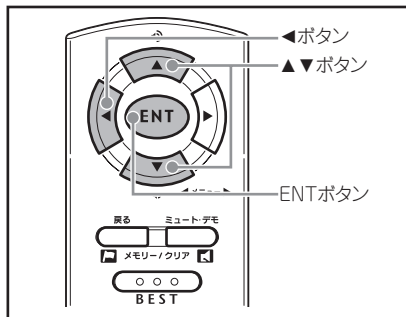
1 本製品が警告動作をおこなっていないときに「ミュート・デモボタン」を押します。

2 デモンストレーション中に、再度「ミュート・デモボタン」を押すとデモンストレーションが終了します。

⚠ 注意

- ・デモンストレーションの内容は固定です。この機能では現在の設定状態は確認できません。
- ・デモンストレーション中は警告動作をおこないません。

飲酒運転警告案内

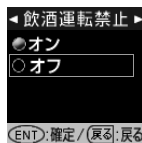


本製品の電源を入れたときに表示されるオープニング画面で、飲酒運転を警告する案内を表示します。(夜間に限ります。)

【参照】 電源を入れる (●13 ページ)

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ボタン」を押して「飲酒運転警告案内」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENTボタン」「◀ボタン」を続けて押して「飲酒運転警告案内」を選びます。



【参照】 各種機能の設定一覧 (●22～23 ページ)

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ELディスプレイの説明

各機能の設定

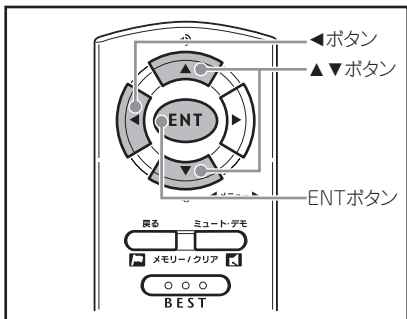
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

追跡表示機能



DC12V 入力のない状態では「EL ディスプレイ」の GPS 警告表示は警告開始から約 10 秒で終了します。追跡表示機能を ON にすることで、DC12V 入力時と同じように速度取締機や信号無視監視機を通過するまで警告画面を表示し続けることができます。※「急カーブ」と「制限速度切り替わりポイント」は追跡表示されません。

- 1** オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「追跡表示」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「追跡表示」を選びます。

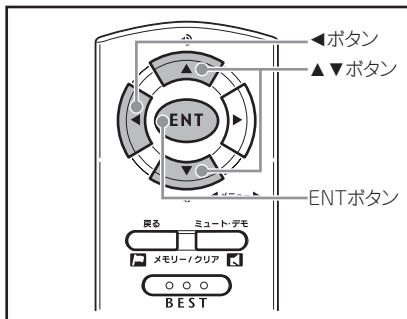


参照 各種機能の設定一覧 (☞22 ~ 23 ページ)

- 2** 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3** 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

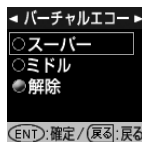
バーチャルエコー機能



擬似的に反響音を作り、ボイスアシストにエコーをかけることができます。

- 1** オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「バーチャルエコー」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「バーチャルエコー」を選びます。



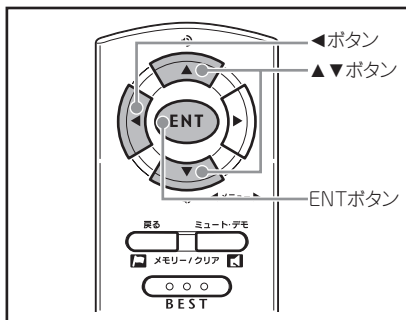
参照 各種機能の設定一覧 (☞22 ~ 23 ページ)

- 2** 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

スーパー	強いエコーがかかる
ミドル	弱いエコーがかかる
解除	エコーをかけない

- 3** 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

本製品の全リセット

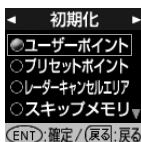


この操作をおこなうと、各設定や記録内容は全て消去され、工場出荷時状態に戻ります。

参照 BEST セレクト機能 (←27 ページ)

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (←22 ~ 23 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「オールリセット」を選びます。

「オールリセット、オールリセット…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。
これで全リセットが完了しました。

⚠ 注意

全リセットをおこなうと、各設定や記録内容を復帰させることはできません。リセット操作は十分に注意しておこなってください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	チェック内容	参照ページ	
電源が入らない	コードレスで使用している	内蔵バッテリーの残量はありますか。	12
		ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。	30
	DCコードを使用している	DC12V は入力されていますか。	12
電源が切れない		DC12V が入力されていませんか？	30
		ムービングセンサーの感度は正しく設定されていますか。	30
充電されない	コードレスで使用している	ソーラーパネルに太陽光が適切に当たっていますか。	12
	DCコードを使用している	DC12V は入力されていますか。	12
機能の設定ができない	「マニュアルモード」に設定されていますか。	26～27	
GPS 信号を受信しない		GPS 信号は受信可能ですか。	8, 31
		DCコードを使用して、充電しながら GPS 測位してください。	12
速度取締機の警告をしない	コードレスで使用している	内蔵バッテリーの残量はありますか。	12
		GPS 信号は受信可能ですか。	8, 31
		登録されていない速度取締機の可能性があります。	3, 33, 42
GPS 警告をしない		取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。	22～23
		GPS 警告ポイント消去機能が設定されていませんか。	34
		設定が「解除」になっていませんか。	22～23
制限速度切り替わりポイントの GPS 警告をしない		登録されていないポイント（エリア）の可能性があります。	3, 33, 42
		制限速度切り替わりポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。	22～23
何も無いのにレーダー警告音が鳴る	速度取締機と同じ電波を他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。 - 同じ電波を使用している機器例 - ・自動ドアの一部 ・車両通過計測器 ・NTT の通信回線の一部 ・気象用、航空機用などのレーダーの一部 - 対処療法 - レーダーキャンセルメモリー機能	35	

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

Eの説明

ディスプレイ・各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と思ったら

アフターサービスについて

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	チェック内容	参照ページ
ユーザーメモリー記録ポイントをお知らせしない	ポイントは記録されましたか。	33
	反対方向などから走行していませんか。	33
ハイブリッド型 L.S.C. 機能が働かない	ハイブリッド型 L.S.C. 機能は ON になっていますか。	22 ~ 23, 29
	ムービングセンサーの設定は正しいですか。	30
EL ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある	EL ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。	
EL ディスプレイに表示跡や色むらがある	EL ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。	
無線を受信しない	受信設定が「解除」になっていませんか。	22 ~ 23
	無線は常に発信されているわけではありません。	3, 18 ~ 19
カーロケーターを受信しない	カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性が あります。	3, 18
	カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性 があります。	3, 18
350.1MHzを受信しない	デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。	3, 18
	350.1MHz の受信電波が弱いと、音声が聞こえない場合 があります。	3, 18
レッカー無線を受信しない	DC12V は入力されていますか。	12
	本製品搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。レッカー無線を搭載していない車両の可能性が あります。	3, 19
	走行速度が約 50km/h 以上で走行していませんか。	19
警察活動無線、署活系無線、警察電話、警備無線、消防無線、消防ヘリテレ無線、新救急無線、JH 無線を受信しない	DC12V は入力されていますか。	12
レッカー無線以外の業務無線を受信する	レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。	3, 19, 32
各種無線を受信したままになる	お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。	
	対処方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ワンスキップ ・スキップメモリー 	32 32

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

E-LSディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな?と思ったら

アフターサービスについて

保証書について

○保証書（別途添付）

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

○保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。



修理・点検を依頼される場合の注意

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データ等は全て消去されます。あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

（保証書に販売店名、日付印がないと無効になります）

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

- ・ ELディスプレイの中に小さな黒い点や輝点が出ても、保証対象になりません。
- ・ 焼き付けや色むらなどによるELディスプレイの修理は保証対象になりません。

○保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

個人情報に関して

本製品に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービスなどに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動に、お客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取扱いについては当社ホームページでご確認いただけます。

<http://www.cellstar.co.jp/>

データ更新について

本製品は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあった場合、その内容を反映させたデータを1年に2回を目安として更新用データを作成しております。

データの更新を希望される場合は、お買い求めになった販売店、当社カスタマーサービスまでご依頼ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合がありますので、あらかじめご了承ください。

データ更新の受付については、製品の仕様や更新用データの都合などにより、データ更新の受付を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

【データ更新を依頼される場合】

データ更新作業をおこなう間、本体を預かりいたします。
また、更新料¥5,250（税込）と、送料が別途必要です。

リモコンの紛失について

万一リモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店までご依頼ください。

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い

本製品でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がございましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メールなどでお知らせ頂いただけますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎ 0120-75-6867

(携帯電話・PHS よりおかけの方は、TEL. 046-275-6867)

e-メール : ranavi@cellstar.co.jp / ホームページ : www.cellstar.co.jp

※ 携帯電話などから e-メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jp をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客様相談窓口一覧

■北海道地区 北海道セルスター工業株式会社	TEL.011-882-1225 (代) 〒004-0843 札幌市清田区清田三条 1-3-1	FAX.011-881-7251
■東北地区 セルスター工業(株) 仙台営業所	TEL.022-218-1100 (代) 〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158	FAX.022-218-1110
■関東地区 セルスター工業(株) 関東営業所	TEL.046-273-1100 (代) 〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32	FAX.046-273-1106
■中部・北陸地区 中部セルスター工業株式会社	TEL.052-798-6325 (代) 〒463-0021 愛知県名古屋市守山区大森 4-1002	FAX.052-798-6315
■関西・中国・四国地区 関西セルスター工業株式会社	TEL.072-722-1880 (代) 〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7	FAX.072-722-5575
■九州地区 九州セルスター工業株式会社	TEL.092-552-5252 (代) 〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目 1-11-8	FAX.092-552-5300
■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス フリーダイヤル 0120-75-6867	TEL.046-275-6867 〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32	

● 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

E L
の
説
明
イ
ス
プ
レ
イ

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

仕様・定格

本体

GPS 受信部

受信方式：16ch パラレル受信

受信周波数：1575.42MHz

レーダー受信部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン方式

受信周波数：Xバンド、Kバンド

レシーバー部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン方式

受信周波数：UHF 330～470MHz帯、VHF 154～162MHz帯

EL ディスプレイ

表示方式：フルカラー有機EL (128×128ドット、約26万色)

電源電圧：内蔵バッテリー /DC3.6V、DCコード /DC12V

動作温度範囲：-10℃～+65℃

本体サイズ：71 (W) × 111 (D) × 50 (H) mm (突起物含まず)

リモコン

使用電池：リチウム電池 /CR2032 × 1

動作温度範囲：-10℃～+65℃

本体サイズ：32.5 (W) × 13 (D) × 66 (H) mm (突起物含まず)

約 14,000 件、23 種類の高精度 GPS データを搭載

- ・ 取締りポイント 約 2,800 箇所
- ・ 速度取締機 (7 種類) 約 720 箇所
- ・ オービス制限速度 約 720 箇所
- ・ N システム 約 1,900 箇所
- ・ 制限速度切り替わりポイント 約 950 箇所
- ・ 事故多発エリア 約 1,750 箇所
- ・ 駐車禁止エリア 約 700 箇所
- ・ その他

※ 改良などのため、本製品の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

オプション品 ※別途お買い求めください。

- RO-100 ACアダプター
- RO-101 電源スイッチ付 DC コード (ストレートタイプ)
- RO-102 電源スイッチ付 DC コード (カールタイプ)
- RO-103 電源直付 DC コード

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100 (代) FAX.046-273-1106

PP-D307MN 2008.2